

## ダイバシティチューナユニット WTU-1830

### 概要

本機は、800 MHz帯B型ワイヤレスシステム専用のダイバシティチューナユニットです。ワイヤレスチューナWT-1814、WT-1812に組み込んでお使いください。PLL シンセサイザ方式を採用していますので、30波の周波数設定が可能です。最大30波の同時使用に対応しています。

### チューナユニットの組み込みかた

- ご注意**
- 静電気による破損を防ぐため、作業前に必ずラックなどの金属物に触れるなどして、人体や衣服に帯電した静電気を逃がしてください。
  - チューナユニットの金めっき端子部には手を触れないでください。

- マイナスイボなどでチューナパネルのつめ部分を押しながら手前に引き出します。
- チューナパネルを開けます。
- チューナユニットを奥までしっかりと挿入します。
- チューナユニットからのコードを、コネクタの裏表の向きに注意して、確実に差し込みます。
- パネルにつめを合わせてから、コードにパネルをはさみ込まないように、はめ込みます。
- ユニット番号の下のカラーマーク貼付位置にワイヤレスマイクと同じ色のカラーマークを貼ります。(6波以下の同時使用の場合)

チャンネルシール貼付位置にワイヤレスマイクと同じチャンネルシールを貼ります。(6波を超える同時使用の場合)

### 受信周波数一覧表

表示	最大同時使用波数						周波数 (MHz)		
	6波グループ						15波グループ		30波
	1	2	3	4	5	6	奇数	偶数	
11	B11						1	2	806.125
21		B21					3	4	806.250
12	B12						5	6	806.375
22		B22					7	8	806.500
31			B31				9	10	806.625
41				B41			11	12	806.750
32			B32				13	14	806.875
23		B23					15	16	807.000
13	B13						17	18	807.125
61						B61	19	20	807.250
33			B33				21	22	807.375
42				B42			23	24	807.500
51					B51		25	26	807.625
14	B14						27	28	807.750
24		B24					29	30	807.875
43			B43						808.000
52				B52					808.125
34			B34						808.250
53					B53				808.375
25		B25							808.500
35			B35						808.625
54					B54				808.750
26		B26							808.875
15	B15								809.000
44				B44					809.125
36			B36						809.250
45				B45					809.375
16	B16								809.500
55					B55				809.625
46				B46					809.750

### グループ・チャンネル番号の設定

グループ、チャンネル番号の設定はチューナ本体 (WT-1814、WT-1812) のチューナパネルのグループ・チャンネル番号設定スイッチで行います。(設定のしかたは、チューナ本体の取扱説明書の「グループ番号とチャンネル番号の設定のしかた」をご覧ください。

#### ● 800MHz ワイヤレスマイクロホンのチャンネル呼称について

- 例 B 1 3
- ① ..... 800MHz帯を表す
  - ② ..... グループ番号を表す
  - ③ ..... グループ内のチャンネル番号を表す

※ 左記以外の組み合わせでは使用できません。  
 ※ お買い上げ時にはB11 (グループ1、チャンネル1) に設定されています。

# トーンスイッチについて

このスイッチ設定を変えるときは販売店にご相談ください。

## ●「トーン」のはたらき

ワイヤレスマイクの電源が入っていないときや、ワイヤレスマイクの電源が入っていても妨害電波が強いとき、妨害電波の音声や雑音が聞こえることがあります。

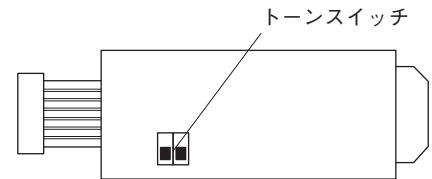
この対策として、ワイヤレスマイクの電波にトーン信号をのせて送信し、ワイヤレスチューナではトーン信号の含まれていないワイヤレスマイクの電波は、音声を出力しないようにしています。本機はこのトーン信号を3種類搭載しており、状況により切り換えることができます。

### メモ

混信が非常に強い場合はチューナの出力が混信妨害の影響を受け、トーン信号の周波数を変えても正常に使用できないことがあります。

## ● トーンスイッチの設定のしかた

1. チューナユニットを引き出し、上面のふたを外します。
2. 基板上的トーンスイッチをボールペンの先などで設定します。  
トーン信号の周波数はスイッチ位置により下表のように変化します。
3. チューナユニットのふたを閉じ、チューナに挿入します。(チューナユニットの引き出し、挿入は表ページの「チューナユニットの組み込みかた」を参照してください。)



スイッチ位置	1 2 OFF	1 2 OFF	1 2 OFF	1 2 OFF
トーン信号周波数	B1、B3 グループ 32.768 kHz B2、B4 グループ 32.718 kHz B5、B6 グループ 32.818 kHz	すべてのグループ 32.718 kHz	すべてのグループ 32.768 kHz	すべてのグループ 32.818 kHz

### ご注意

- トーンスイッチを切り換える際、スイッチ以外の部品には触れないでください。故障や動作不良を起こすことがあります。
- ワイヤレスマイクとチューナユニットは、グループ・チャンネル番号およびトーン信号の周波数がそれぞれ一致しないと正しく受信できません。
- お買い上げ時はトーンスイッチの位置は1、2ともに「OFF」の位置に設定しています。
- この機能は、トーンスイッチのついていないワイヤレスマイクとチューナユニットの組み合わせでのみ使用できます。トーンスイッチのついていない機器の組み合わせでは、スイッチ1、2ともに「OFF」の位置で使用してください。

# 仕様

電源電圧	DC6～10V
消費電流	120mA以下
受信周波数	806.125～809.750MHz (30波のうち1波)
受信方式	スーパーヘテロダイン方式
ダイバシティ方式	スペースダイバシティ方式
アンテナ入力インピーダンス	50Ω
受信感度	S/N比 25dB以上 (10dB μV入力、変調周波数 1kHz、±4.8kHz 偏移)
スケルチ	約30dB 可変 (チューナパネルスケルチ調節つまみで変更可能)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

S / N 比	64dB以上 (JIS A カーブ使用)
残留雑音	16 μV以下 (JIS A カーブ使用)
出力	0dBV ± 2dB (38kHz 偏移時、負荷 4.7kΩ 以上)
歪率	3%以下 (60dB μV 入力)
使用温度範囲	-10～+50℃
寸法	60(幅) × 25(高さ) × 139(奥行) mm (ハーネス部を除く)
質量	130g

## ● 付属品

- チャンネルシール ..... 1
- カラーマーク (6色) ..... 1

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル <b>0120-108-117</b> ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料)
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日除く)	※ PHS、IP 電話からはつながりません。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。